

平成24年度 事業報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

公益財団法人 井上育英会

事業の状況

1. 奨学生の選考・奨学金の貸与

(1) 大学別・年次別 学生数・奨学金貸与額（平成25年3月31日現在）

大 学	5 学 年	4 学 年	3 学 年	2 学 年	計	月 額	年間貸与総額
北 海 道 大 学	1	4	4	4	13	372,000	4,464,000
東 北 大 学		2	3	2	7	210,000	2,520,000
東 京 大 学		2	1	2	5	160,000	1,990,000
一 橋 大 学			1		1	30,000	360,000
東 京 工 業 大 学		1	1	1	3	90,000	1,080,000
名 古 屋 大 学		1		2	3	86,000	1,032,000
京 都 大 学		1	1	1	3	100,000	1,380,000
大 阪 大 学		1	1	1	3	90,000	1,080,000
九 州 大 学		1			1	35,000	420,000
合 計	1	13	12	13	39	1,173,000	14,326,000

(2) 奨学金貸与月額

	自 宅	自 宅 外
東京・近畿	30,000円	35,000円
その他の地域	28,000円	30,000円

2. 奨学生に対する勉学、進路等の指導・助言

(1) 月例会等

在京学生に対して、毎月第一水曜日奨学金支給時に学生委員を中心とするOBが夕食を共にし懇談と指導を行った。各支部でも毎月奨学金支給時に懇談会が行われ、いずれも奨学生の相談が相次ぎ進路等について適確なアドバイスを与えた。

また季節の例会として、初夏例会(6月22日「レアメタル・レアアースなどの鉱物資源政策について」資源エネルギー庁 佐伯徳彦氏)、秋季例会(11月16日「在宅医療を取り巻く諸問題～認知症と終末医療を中心に」ねりま大塚クリニック 森宏太郎氏)、新年例会(1月26日)を開催。いずれも学生とOB会員ら数十人が集い、講演と懇談で啓発の実をあげた。支部においても、北海道(11月)、東北(11月)、近畿(1月)、九州(1月)などでそれぞれ行われた。

(2) 卒業祝賀行事

3月8日の祝賀前夜祭は、全国の卒業生と新奨学生・OBら67人が老舗 江知勝のすきやきを囲んで懇談。学生の自己紹介とOBの激励が続いた。翌9日の祝賀会はホテルグランドパレスで行われ、役員や支部代表の先生方から新卒業生らにはなむけの言葉が贈られた。卒業生を送る会は北海道・東北など支部ごとにも行われた。

(3) 新奨学生歓迎行事・スキー合宿等

首都圏在住の新奨学生を歓迎するバス旅行が7月7・8の両日に行われた。新奨学生と先輩の学生・院生・OBらが参加し、トヨタの生産技術と明治文化に触れる旅を楽しんだ。今回は東海支部の学生・OBも参加し交流を深めた。

恒例のスキー合宿は平成25年1月12日から3日間、新潟県苗場高原で行われた。4人が参加、白銀の大自然の中で滑りを楽しみながら、心身を鍛えた。

(4) 会誌の発行等

会誌「新桜菱」 第222号(H24.6) 第223号(H24.9) 第224号(H24.12) 第225号(H25.3)

3. 育英資金の募金

本年度は延べ190人の方から応募があり、醸金総額は3,144,000円に達した。

4. 公益財団法人として新発足

内閣府の認定を受け、平成24年4月1日公益財団法人井上育英会として登記を完了した。